

平成27年度

学校教育自己評価

学校法人 三友学園

専修学校 自由高等学園

平成27年度 専修学校自由高等学院 学校自己評価

1. はじめに

本校は、平成9年の開校に伴い、実社会のあらゆる場面で、適切な判断、対処ができる人材の育成を目指し、次のような目標と方針をもって教育を行ってきた。

[教育目標]

すべての生徒に対して、将来社会人として活躍するために必要な社会性、コミュニケーション能力、自己肯定感を身に付けさせるべく「基本的生活習慣の確立」「コミュニケーション力の向上」「基礎学力の向上」を教育目標とする。また、教員や同世代の仲間たちとの関わりの中で「心の教育」を展開し、実社会に適応でき、生きていく力の養成を第一の目標とする。

[教育方針]

上に掲げた教育を実現し続けるため、本校職員は生徒一人ひとりの個性を尊重しながら学習意欲の喚起を図るとともに、習熟度別授業を取り入れるなど、個人の能力に応じた学習指導による学力向上、集団活動を伴う各種学校行事の活用を通じたコミュニケーション能力形成に力をそそぎ、各生徒の希望する進路の実現に努めてきた。

以上が本校教育の要諦であるが、このような教育活動を展開すると同時に、その活動がどの程度生徒や保護者の期待に応えられているかについて把握し、その結果を検証して以後の教育活動に反映させていくことも重要かつ必要であると考え、学校評価を実施した。以下、平成27年度の教育活動について実施した学校評価の概要を報告する。

2. 学校評価の方法

学校自己評価

- ① 在籍する全生徒及び保護者を対象に、本校の教育に対する満足度を調査するためのアンケートを実施した。なお、個人の特定を回避するため、アンケートは無記名方式で行なった。
- ② ①の結果について、全教職員で検証を行ない、課題の明確化を図り、今後の改善策を検討した。

3. 学校自己評価の概要

(1) 調査及び集計結果

生徒及び保護者に対し、以下の項目について、四者択一方式[①そう思う ②どちらかと言えばそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない]で満足度の調査を行ない、数値化した。

平成27年度学校評価調査項目及び結果（生徒）

分野	調査項目	
全 般	(1) 学校生活は全般的に満足できている	73%
	(2) この学校の指導は自分にとって必要なことが多い	80%
	(3) この学校で自分の成長を実感している	83%
授 業 ・ 学 習 指 導	(4) 授業の内容は充実しており満足できる	77%
	(5) 先生は質問や相談に丁寧に対応してくれる	92%
	(6) 授業の内容はよく理解できる	71%
	(7) 授業内容の難易度や進度は自分の学力に合っている	61%
	(8) 年間の登校日数や授業時間数は十分足りている	96%
	(9) コース別授業は自分にとって有意義である	86%
	(10) 「各種検定の受験回数や合格実績に満足している	67%
学 校 行 事	(11) 大山登山は有意義だった	68%
	(12) 文化祭は満足できる内容だった	73%
	(13) 1・2年生合同合宿は有意義だった	70%
	(14) 全校スポーツ大会は満足できる内容だった	75%
	(15) 特別授業は満足できる内容だった	83%
	(16) 修学旅行は満足できる内容だった	83%

学 校 生 活	(17) 学校の雰囲気は明るいと思う	84%
	(18) 他の生徒と仲良くできる環境で安心して過ごせる	75%
	(19) 学校はアットホームな雰囲気である	74%
	(20) 真面目な生徒が多く落ち着いた環境で授業が受けられる	70%
	(21) 先生に対して気軽に相談できる雰囲気がある	67%
	(22) 校舎や設備には満足している	58%
	(23) 学校は清掃活動や環境美化に力を入れている	88%
	(24) 社会に出るためのマナーを身に付けることができている	90%
	(25) コミュニケーション力を向上させることができている	77%

平成27年度学校評価調査項目及び結果（保護者）

分野	調査項目	
全 般	(1) この学校の教育には全般的に満足できている	89%
	(2) この学校の指導は我が子にとって必要なことが多い	90%
	(3) ここでの学校生活は我が子の成長に有意義である	95%
学 習 指 導	(4) 年間の登校日数や授業時間数は十分足りている	75%
	(5) 本校入学後我が子の学習意欲が向上した	75%
	(6) 検定の受験回数・合格実績、模試の結果には満足している	75%
	(7) 授業の難易度や進度は我が子の学習到達度に合っている	82%
保 護 者 会 等	(8) 保護者会の内容（講演会・クラス懇親会等）は充実している	94%
	(9) 個人懇談の実施回数（年1回）は適切である	73%
学 校 運 営	(10) 学校ではマナーや社会のルールについての指導が十分に行われている	97%
	(11) 進路指導は生徒一人ひとりの目標達成に役立つように行われている	80%
	(12) 保護者への連絡や情報公開は適切に行われている	86%
	(13) ホームページなどで学校からの情報発信は効果的に行われている	83%

(14) 学校の施設・設備については十分に整備・管理が行われている	84%
(15) 保護者からの電話や訪問に対し学校は適切に対応している	96%
(16) 学校に対して気軽に相談できる雰囲気がある	90%

3. 考察

(1) 生徒アンケート結果

25項目中24項目において満足度が60%以上、平均で77%であった。特に

- (2) 学校の指導は自分にとって必要なことが多い
- (3) この学校で自分の成長を実感している
- (5) 先生は質問や相談に丁寧に対応してくれる
- (9) コース別授業は自分にとって有意義である
- (15) 特別授業は満足できる内容だった
- (16) 修学旅行は満足できる内容だった
- (17) 学校の雰囲気は明るいと思う
- (23) 学校は清掃活動や環境美化に力を入れている
- (24) 社会に出るためのマナーを身に付けることができている

の9項目については80%から90%を超える高い評価であり、引き続き高水準を維持する必要がある。

(2) 保護者アンケート結果

16項目中12項目において満足度が80%以上、平均で85%であった。特に

- (2) この学校の指導は我が子にとって必要なことが多い
- (3) ここでの学校生活は我が子の成長に有意義である
- (8) 保護者会の内容（講演会・クラス懇親会等）は充実している
- (10) 学校ではマナーや社会のルールについての指導が十分に行われている
- (15) 保護者からの電話や訪問に対し学校は適切に対応している
- (16) 学校に対して気軽に相談できる雰囲気がある

の6項目については90%を超える高い評価であり、引き続き高水準を維持する必要がある。

4. 今後の課題

(1) 学習指導

生徒の学力差が縦に広がっているため、基礎学力の定着を図る必要のある生徒から、難関大学受験に向けてサポートが必要な生徒まで、幅広く対応していく必要がある。前者の生徒には、習熟度別授業や基礎コースの指導方法を今後ますます充実させることで対応し、後者の生徒には非常勤教員による補習授業や、Web 学習の活用も取り入れながら、質量ともに充実を図る必要がある。

(2) 生徒指導

開校以来、挨拶や清掃に関する指導には特に力を注いでおり、本校の伝統として定着している。また、「落ち着いた環境で安心して学校生活を送ることができる」校風は、学校の基本方針として、今後も重点項目として継続を図る必要がある。

(3) 進路指導

本校入学の段階で、年齢相応の学力や社会性が十分に育っていない生徒が多くを占めるが、進路指導を始めるタイミングをはじめ、その内容について本校独自のノウハウを確立し、生徒個々の特性や能力に見合った、より適切な進路指導を実施する必要がある。

(4) 生徒のメンタルケア

臨床心理士資格を有するカウンセラーを配置し、希望する生徒・保護者に定期的にカウンセリングを実施しているが、教員個々においても、基礎的な知識や「聴く力」を高める努力は必要である。学内外の研修を利用して教員の資質向上を目指す。

(5) 学校行事

既存の学校行事（大山登山・文化祭・合同合宿・スポーツ大会・特別授業・修学旅行）に対する生徒の満足度は高いレベルにあるが、内容の見直しや新たな行事の導入により、生徒の達成感や満足度を更に向上させる必要がある。

(6) 保護者との関係づくり

本校は、不登校経験をはじめ、さまざまな特性を持つ生徒が多いことから、開校当初から、保護者と連携を密にした学校運営を進めてきた。今

後も保護者会や個別懇談、学校行事等を通じて保護者との良好な関係づくりを推進していく必要がある。

5. まとめ

本校の教育活動は、生徒・保護者・教職員間の連携によって行われるべきものであり、このようなアンケート調査の活用に基づいた検証や検討が必要と思われる。今後もさまざまな課題や問題について可能な限り生徒・保護者に情報公開をしながら教育活動を実践していく所存である。